

3類型	農林水産物	通巻番号	3-26-228
地域資源名	落花生・かんしょ・かぼちゃ・くり	認定日	平成26年10月15日
地域	茨城県龍ヶ崎市	所管省庁	農林水産省 経済産業省

事業名:新ターゲット創出に向けた茨城県産ピーナッツ新商品開発販売による地域活性化事業

会社名 : グリーنز

所在地 : 茨城県龍ヶ崎市佐貫
2-12-8-403

連絡先 : TEL:090-4367-6001
FAX:0297-64-3399

HP: -

事業概要(新たな活用の視点)

全国の落花生生産は、高齢化の進展、機械化の遅れ等により作付面積は年々減少しており当地域においても例外ではない。茨城県産落花生が生き残るため、生産技術の改善などによる収量増加や、イメージアップを図るための品質向上対策が必要である。また、日本の落花生商品市場は、酒のつまみ等の高齢者向けが多く、若年層からは古臭い、お洒落ではない等のイメージが定着しており、これまでのイメージを払拭した、若年層や女性の購買意欲を掻き立てる商品提案・ブランド化が課題である。本事業では、茨城県産落花生の未利用品を活用し、ピーナッツクリーム、ピーナッツ調味料を開発する。新たな食文化も提案・創出し、新ターゲットである若い世代層に親しみやすい茨城県産ピーナッツのブランド化と地域活性化を目指す。



【グリーンズ落花生農場】



【試作開発品】
(ピーナッツクリーム)



【試作開発品】
(ピーナッツジェノベーゼ)

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

生産から加工・販売まで一貫した製造販売により完全なトレーサビリティを実現し、新ターゲットの掘り起しを実現可能にするピーナッツ食文化提案を行なうことで差別化を行なっていく。

◆市場性

新たなピーナッツ商品シリーズ展開や素材にこだわる飲食業・和洋製菓業者へ調理提案等を行うことにより、近年、希少価値の増している茨城県産落花生を地域内外の消費者へ訴求する。

◆販路

観光農園に隣接を予定している店舗を中心に、地域事業者と連携して販売を行う。さらに域外、首都圏の百貨店、産直セレクトショップ等への展開を図る。

地域資源における関係事業者との連携

地域事業者と連携し地域を一体化した茨城県産品開発の展開を計画する。また、既に取り組んでいる小中学校の農業体験を近隣の生産者と連携し地域全体へ広げ、学校給食の活用など食育活動を促進する。さらに地元大学や商店街との連携を図り地域一体の活性化を目指す。